



認定特定非営利活動法人

日本がん登録協議会

JACR Japanese Association of Cancer Registries

NEWSLETTER 年2回発行

JACR ニュースレター

February.2019 No.46

認定NPO法人になりました!

2005年
保健文化賞
受賞

2016年
朝日がん大賞
受賞

日本がん登録協議会第27回学術集会報告



増田 昌人 第27回学術集会会長

琉球大学医学部附属病院がんセンター

日本がん登録協議会(JACR)第27回学術集会は、2018年6月13日(水)から15日(金)、沖縄県市町村自治会館を会場に、学術集会301名、研修会230名、情報交換会159名の参加をいただき、成功裏に終えることができました。開催にあたり、JACR猿木理事長はじめ理事の先生方、事務局の皆様、学術集会プログラム委員会およびJACR学術委員会の先生方、沖縄県保健医療部(含む沖縄県衛生環境研究所)、沖縄県がん診療連携協議会ベンチマーク部会(旧がん登録部会)、名桜大学国際学群診療情報管理専攻の皆様にご協力を賜り、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

都道府県がん診療連携拠点病院のがんセンター長として、沖縄県内の各がん診療連携拠点病院の5年生存率の公開や、沖縄県第2次がん対策推進計画の中間評価を行った経験から、学術集会のテーマを『患者・地域に解決をもたらすデータサイエンスへの進化』としました。このテーマを具現化するために、プログラム委員会を組織し、一般社団法人全国がん患者団体連合会から天野慎介理事長、松本陽子副理事長にも委員として入っていただきました。幸いにも、プログラム委員会の皆さんは、愚見を尊重していただき、素晴らしいプログラムを創っていただきました。

J-CIPシンポジウム「がん登録の現在と未来」では、その理念の通り、がん登録が患者とその家族にどのように役立つ可能性があるのかについて発表・議論が行われました。学術集会シンポジウム1「自県のがん登録を活用した都道府県がん計画」およびシンポジウム2「院内がん登録の利活用:院内がん登録報告書を例として」では、先進県での好事例の報告が相次ぎました。参加者が地元に戻ってから先ず何をすべきかについて、示唆に富むシンポジウムになったと思います。

また、これまでの地域がん登録に加えて、多数の院内がん登録関係者の参加をいただき、87公募演題の約半数が院内がん登録となりました。今回のテーマを多くの参加者が理解していただき、公募演題のかなりの演題ががん登録データの利活用に関わるものであり、「患者・地域のためにがん登録ができること」という視点を持って、研究発表をしてくださいました。

さらに、会期中に参加者から今回の学術集会としてのポリシーを出せないかというお話を頂戴しました。そこで、僭越ながら最終日に『会長提言』を出させていただきました。今後のJACRのあるべき姿を、ロジックモデルを利用して、私なりに提案できたと思っています(表)。今後は、JACRの活動として、是非ご検討いただきたいと思います。

表) 第27回学術集会会長提言

協議会としての個別施策	中間アウトカム	最終アウトカム
各臓器別および目的別(患者用病院選択、国民用がんの理解、予防、早期発見など)データセットを取り決める	国民(患者関係者を含む)・医療者・行政にとって、必要なデータが収集されている	がん対策のPDCAサイクルの管理と総合的推進のために必要なストラクチャー指標、プロセス指標、アウトカム指標がそろっている。また、これらが国民(患者関係者を含む)・医療者・行政の役に立っている
データセットに入っている個々の情報の収集の方法を公開し、技術的支援を行う		
データセットを完備するための研修会を定期開催する		
地域および院内がん登録とデータセットの分析方法及び公開方法についての標準的な方法を公開し、技術的支援を行う	国民(患者関係者を含む)・医療者・行政に資するために、データが適切に分析され、公表されている	
地域および院内がん登録とデータセットの分析方法及び公開方法についての研修会を定期開催する		
各都道府県の地域および院内がん登録とデータセットの分析を定期的に行い、都道府県に対して、必要な注意情報を出す	国民(患者関係者を含む)・医療者・行政に資するために、分析されたデータが活用されている	
都道府県および市町村担当職員とデータ分析者についての定期会議について、事例集を作成・紹介し、個別相談や技術的支援を行う		
都道府県および市町村担当職員および患者・住民に対して、データセットの解釈方法と計画の進捗管理への活かし方について、共に学び合う会を定期開催する		
国民(患者関係者を含む)に対して、データセットの解釈方法と医療機関選択への活かし方について、共に意見交換し、学び合う会を定期開催する		